

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和4年度病虫害発生予察技術情報第12号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第12号(チャバネアオカメムシの越冬量)を発表したので送付します。

技術情報第12号

- 1 対象作物：果樹全般(ウメ、モモ、スモモ、ナシ、カキ、カンキツ等)
- 2 病虫害名：チャバネアオカメムシ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 越冬量：前年よりやや多
- 5 本年の発生状況

- (1) 越冬量：県下27地点の常緑広葉樹林下落葉中における1㎡当たりの越冬成虫数は1.1頭/㎡で、前年の2022年(0.8頭/㎡)よりやや多かった(表)。なお、福岡・飯塚・行橋では地域差が大きかった(表略)
- (2) 採集地点率：越冬成虫の採集地点率は81.5%で、2022年(82.1%)並であった(表)。

表 チャバネアオカメムシの1㎡当たり越冬成虫数、採集地点率及び4～7月成虫誘殺数

項目/年	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013～ 22年平均	
越冬成虫数 (頭)	県内平均	0.7	4.8	0.9	0.8	0.9	3.8	0.8	5.0	0.3	0.8	1.1	1.9
	朝倉	0.6	9.1	0.4	1.9	1.2	3.8	1.2	4.4	0.4	0.9	1.1	2.8
	久留米	1.3	6.8	1.7	1.1	1.4	5.4	0.9	8.5	0.5	1.0	1.1	3.3
	筑後	0.9	2.6	0.8	0.6	0.4	2.1	0.6	3.2	0.0	0.26	0.5	1.4
	福岡・飯塚・行橋	0.1	2.8	0.5	0.2	0.9	4.3	0.8	4.3	0.3	1.1	2.3	1.7
越冬成虫の採集地点率(%)	73.5	97.1	76.5	67.6	79.4	97.1	79.4	97.0	41.4	82.1	81.5	81.7	
4～7月成虫 誘殺数(頭)	予察灯	112	2,128	86	126	206	1,400	203	3,044	115	337	-	776
	フェロモントラップ	553	15,279	237	338	493	2,530	38	2,635	19	1,142	-	2,326

6 防除上注意すべき事項

越冬量は4月～7月の予察灯やフェロモントラップでの誘殺数と密接な関係が見られるため、本年4月～7月の果樹園への飛来は2022年よりやや多いと考えられる。

- (1) 春先の気温が高く、越冬成虫が活動し始める時期が早い場合は、ウメ、モモ、スモモ等に早期に飛来すると予想されるので、果樹園への飛来状況の把握に努める。なお、把握のための観察は一部の樹だけではなく、園全体の樹について行う。
- (2) 予察灯やフェロモントラップが設置されている地域では、誘殺が増加する時期と量に留意し、誘殺数や果樹園への飛来が多い場合は、収穫前日数等農薬使用基準を遵守し薬剤防除を行う。
- (3) 今後の発生状況は、病虫害防除所ホームページ(<https://www.jpnp.ne.jp/fukuoka/>)を参照する。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

- ①福岡県病虫害防除所のホームページ
URL: <https://www.jpnp.ne.jp/fukuoka/>
または右のQRコード



最新の病虫害発生状況

- ②Twitter (ツイッター) の
本アカウント(福岡県農作物病虫害情報)
URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka
または右QRコード

